

徘徊してしまう心配のある方へ

母が道によく迷うようになって…。
家に戻れなくなる心配があります。

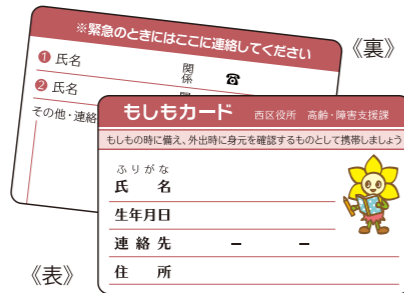


認知症高齢者等SOSネットワーク・見守りシール

本人の顔写真付きの登録書を事前に届け出いただくことによって、認知症の高齢者等が徘徊などで行方不明になったときに、出来るだけ早く発見し保護していくための仕組みです。
また、登録することでQRコードを利用して身元を特定できる「見守りシール」もお渡しできます。

もしもカード

高齢者が緊急事態に備えて本人情報等を記載しておく、名刺サイズの「もしもカード」を配布しています。ご活用ください。



相談窓口 西区内地域包括支援センター（中面参照）
西区高齢・障害支援課（中面参照）

もしも、徘徊している方に出会ったら

- 1 認知症と最初から決めつけず、前方からゆっくりと挨拶を。次々と質問せず、よく本人の話聞きましょう。
- 2 夏場は水分補給を。周囲に危険なものがないか、安全確認をしつつ見守りましょう。
- 3 衣類や持ち物に名前や連絡先が記されていることがあります。
- 4 連絡先が分からない場合は、警察にご連絡ください。



成年後見制度について

お金の管理ができなくなってきて心配です。



最近、悪徳商法が多くて不安だなあ。

成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などにより、自分ひとりで判断することが難しい方について、家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が、本人にかわって財産の管理や必要な手続きなどを行い、本人の権利を守り支援する制度です。

相談窓口 西区内地域包括支援センター（中面参照）
西区高齢・障害支援課（中面参照）

介護者の方が相談できる場があります

認知症の方やその介護者の方が参加できます。
同じ悩みを抱えている人同士で、悩みを分かちあう場です。

認知症カフェ

認知症の方やご家族はもちろん、誰でも立ち寄れるつどいの場です。
ボランティアや相談員がいます。

- **わたぼうしカフェ** 場所：にしとも広場（西区市民活動支援センター）
毎月第3土曜日（原則）13時～16時
- **あずまカフェ** 場所：生駒医院2階
毎月第2土曜日（原則）13時～16時

西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」

介護者同士で、介護の大変さや苦勞を話しあい、励ましあい、助けあう活動をしています。

お問い合わせ先 西区内地域包括支援センター（中面参照）
西区高齢・障害支援課（中面参照）

ひとりで抱え込まないことが大切です。
「どうしたらいいだろう。」と悩んだとき、
分かってくれる人と話すことが出来る場所
です。お待ちしております。



住み慣れた地域で生活していくために

普段から、本人や家族がご近所と交流を持つことで変化に早く気づきあい、助けあうことができます。
認知症を正しく理解することが大切です。

認知症キャラバン・メイトをご存知ですか？

認知症キャラバン・メイト養成研修を受けた認知症についての理解の深い方々です。
ボランティアとして出張講座を開き、認知症の理解を広める活動をしています。



エンディングノートを配布しています！

「今の自分のことを整理し」、「これからの人生を考える」きっかけとして、**西区版エンディングノート**を配布しています。ご活用ください。

お問い合わせ先

西区内地域包括支援センター（中面参照）
西区高齢・障害支援課（中面参照）



発行・編集／西区役所 高齢・障害支援課

〒220-0051 横浜市西区中央1丁目5-10
☎ 045(320)8410 FAX 045(290)3422 発行：令和4年3月

安心して暮らし続けられるまちに

西区

認知症ガイド



認知症とは？

認知症とは誰もがかかる可能性のある「脳の病気」です。
様々な原因で脳の働きが低下し、記憶することや判断することが難しくなって日常生活に支障をきたす状態です。

日常の変化に早く気づき、正しく治療することや介護保険などのサービスを利用することも大切です。

西区役所 高齢・障害支援課

西区内地域包括支援センター、認知症初期集中支援チーム、
西区在宅医療相談室、西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」、
西区認知症キャラバン・メイトのご協力をいただき作成しました。

認知症の種類



■アルツハイマー型認知症

脳にβアミロイドというたんぱく質が長い期間かけてたまることによって、脳の細胞の働きが少しずつ失われ、脳が萎縮していきます。初期の症状として、直近のことを忘れてしまったり、日にちの感覚がなくなってしまうことが特徴です。

■脳血管性認知症

脳梗塞、脳出血などのあとに起こります。損傷を受けた脳の部分によって、症状が異なります。記憶障害に加え、片麻痺や歩行障害、感情が不安定になることが特徴です。

■レビー小体型認知症

脳にレビー小体という物質がたまることで、脳の細胞が損傷を受けて発症します。記憶障害や実際にはないものが見える幻視、パーキンソン症状が現れるのが特徴です。

■前頭側頭型認知症

脳の前頭葉や側頭葉が著しく萎縮することから起こる認知症です。性格が変わってしまい怒りっぽくなったり、その場にそぐわない行動が見られるなどが特徴です。

■その他

様々な原因からくる認知症もあります。慢性硬膜下血腫や正常圧水頭症は、適切な治療が有効な場合があります。

認知症は高齢者だけの病気ではありません！

■若年性認知症

65歳未満の若い人が発症する認知症です。働き盛りに発症するため、本人はもとより、勤務先や家族への影響が大きくなります。



「認知症かもしれない」と心配になったら

こんなことに気づいたら

- 数日前のことや少し前のことをすぐ忘れる。
- 食事の準備や家事ができなくなった。
- 請求書の支払いができない。
- 意欲がなくなった。
- 道によく迷うようになってしまった。
- 怒りっぽくなったり、人柄が変わったようだ。

早く受診して適切な治療をすることで、進行を遅らせたり、家族や周囲の人が適切に対応できるようになることがあります。かかりつけ医がある方は、まず医師に相談することをお勧めします。

家族や周りの人は心配しているけれど、本人が受診を嫌がっています。



物忘れ相談

専門医による面接・訪問での相談を受け付けています。

月1回予約制 予約先 西区高齢・障害支援課（右記参照）

認知症初期集中支援チーム

認知症専門医・看護師・精神保健福祉士などが訪問し、専門医療機関の受診、介護サービスに関する説明や利用支援、認知症の状態に応じた助言等を行います。期間は概ね6か月を目安とします。西区は諸星クリニックに設置しています。

相談窓口 西区内地域包括支援センター（右記参照）
西区高齢・障害支援課（右記参照）

西区在宅医療相談室

区民の方が安心して在宅医療が受けられるよう、病院・かかりつけ医などと連携し、支援や情報提供を行います。

相談窓口 西区在宅医療相談室
☎045-620-5830
月～金／9：00～17：00
（祝日及び年末年始を除く）

往診してくれる医師を探しています。



認知症や介護について相談したいとき

介護について悩むことがあったら、ひとりで抱え込まないで相談しましょう。

地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者の方を介護・福祉・医療・保健など総合的に支援するため、専門職が配置された機関です。介護保険の代行申請もしています。

浅間台地域包括支援センター

☎045-311-7200 西区浅間台6

第1月曜日のみ
受付時間9:00～17:00

藤棚地域包括支援センター

☎045-253-0661 西区藤棚町2-198

宮崎地域包括支援センター

☎045-261-6095 西区宮崎町2

戸部本町地域包括支援センター

☎045-321-3300 西区戸部本町50-33

第3日曜日休館

受付時間 9：00～17：00（年末年始休館）

地域包括支援センターは、地域ケアプラザに設置されています。ご相談の際は、事前に電話でのご連絡をお願いします。

お住まいの住所によって、担当する包括支援センターが決まっています。詳しくはお問い合わせください。

西区役所 高齢・障害支援課

☎045-320-8410 西区中央1丁目5-10

受付時間／8：45～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

介護保険を申請して、デイサービスを使い始めました。本人は最初「行きたくない。」と言うこともありましたが、徐々に慣れてきました。介護をしている私の負担が少し軽くなりました。



電話相談

よこはま認知症コールセンター ☎045-662-7833

火・木・金：10時～16時（祝日を含む、年末年始を除く）

かながわ認知症コールセンター ☎0570-0-78674

月・水：10時～20時／土：10時～16時（祝日を含む、年末年始を除く）

若年性認知症コールセンター ☎0800-100-2707

※65歳未満の方の相談／月～土：10時～15時（祝日及び年末年始を除く）